

## 私の—仕事と私事—

My “Work and Life”

上田一恵 Kazue UEDA

‘仕事’を始めて20年とちょっと。これまで二つの会社で大きく分けると六つのテーマの研究開発に携わる非常に充実した時間を過ごしてきました。この間、いろいろなことがありましたが、ここまで楽しく有意義に‘仕事と私事’をしてこられたのも周りの方の協力と、そして常に楽観的にしか物事を考えられない私の性格が幸いしているのかもしれない。

企業における研究は3~6年のうちには事業化できるかどうかを判断し、できそうになれば撤退(テーマ終了)、うまくいけば事業部へ移管していきますので、一つのテーマを延々と担当することは比較的少ないといえます。もちろん、うまくいって事業化への道を歩みだすと応用面に力点を移した開発へ発展し、そのうち自分で売り込みにいっていたりしてずっと同じテーマにかかわる人もいます。

私が20年あまりのうちに担当した六つのテーマは、基礎的研究で終了したもの、事業化を断念したもの、事業化へ進んだ後のフォロー+関連する新たなテーマ発掘、と多彩です。私は有機高分子が専門とっていますが、与えられたテーマの中には無機触媒にかかわるものもあったり、生化学関連、有機化学まで分野がおよび、ずいぶん研究の幅を広げてくることができました。

私にとって、それまでの専門分野とは違う研究に携わることは、研究の幅を広げ、違った見方・考え方を習得できる良い機会でした。楽観主義の私は常にそのように考えることができ、どうしても専門分野から外されたのだろうか、自分の専門で仕事がしたいとはあまり強く思いませんでした。私にとってはそれがよかったのかなあ、と思います。

多くの人との出会いも私を後押ししてくれました。男性の先生、先輩方はもちろん、数少ない女性研究者の先輩にちょっとアドバイスしてもらったことが長い間、心の支えになっています。どちらかという人と人の付き合いは苦手なほ



うで、できれば話をせずに済ませたいと思っている私ですが、どうしても話をしなくてはいけない状況になって勇気を出して話すことができた経験はためになったと思います。本当なら、ここで変身してもっと積極的に人とかかわれたらいいのですが、そこは私の性格でなかなかそうもいかず、とにかくできる範囲で頑張れば、と考えています。

最近では、後輩にいろいろ話をする機会も増えてきましたが、人それぞれ立場も状況も考え方も性格も違うので、私のやり方を勧めるということがないように気をつけています。あくまで一つの参考にしてもらえれば十分で、あとはやっぱりその人にかかっています。それぞれの人がそれぞれの最良のやり方で、‘仕事と私事’に充実した時間が過ごせるよう、そっと見守りたいと考えています。(必要に応じて私にできることはしていく所存です。)

‘私事’においては、エンジニアの夫と二人のワンパク息子。これだけでもう十分充実しているのですが、これに加え、学生時代から習っていた剣道の再開。保育園ママたちに誘われて始めたオカリナ。この二つの趣味は、これまで私がかかわってこなかった実にさまざまな経歴、職業の人たちとの出会いをもたらしました。ここでも幅が広がったなあと感じています。どちらもあまり上手ではないのですが、下手は下手なりに、教えを請うと熱く教えてくださる師や友がいて、ありがたい限りです。二人の息子と一緒に剣道で汗を流すという貴重な経験もさせてもらっています。

苦労はいろいろしましたが、人はそれを何とか越えていくものです。それよりもしてきたことを褒め、前向きに取り組んでいきたい。こんな私を常にサポートし、励ましてくれるすべての方、そしてなにより家族、とくに夫に感謝し、これからもますます意欲的に取り組んでいきたいです。



ユニチカ(株)中央研究所開発2グループ(611-0021 宇治市宇治小桜23番地)・グループ長、工学博士。1986年神戸大学工学部工業化学科卒業。専門は高分子化学の合成、改質、物性。  
E-mail: kazue-ueda@unitika.co.jp